

## 身近なサービスと税金

江戸川区立瑞江第二中学校 3年 砂金 美結

私は、税金と自分が受けているサービスについて考えてみました。主に私が受けている身近なサービスは三つあると思います。

一つ目は、病院の医療費です。私は口唇口蓋裂という先天性の病気を持って生まれました。口唇口蓋裂とは、上あごと上唇が閉じられないまま生まれてくることです。私は、今まで五回の手術を受けてきました。一回目は、生後四ヶ月の時に、上唇を閉じる手術、二回目は、口の中の上あごを閉じる手術、三、四回目は、腰の骨を取って歯茎に移植する骨移植を右と左で一回ずつ。最後に唇の修正手術です。全て約二週間の入院が必要でした。今この作文を書くにあたって調べたところ、一回の入院、手術で十五~三十万円かかることが分かりました。また、歯並びが悪いため、これから歯の矯正が始まります。矯正も自費だとお金がかかりますが、私はもともと口唇口蓋裂があるので、保険がきき、さらに江戸川区民の子供は、医療費がゼロなのでありがたいと母は言っています。歯の矯正治療はとても痛そうですが、頑張ってきてきれいに治したいと思います。

二つ目は、学校の教育費です。私は、今年中学三年生なので受験をし、高校に入学となると、入学費、授業料、制服などたくさんのお金が必要です。ですが都内に住んでいる高校生は授業料を都が負担してくれます。

三つ目は、図書館や共育プラザなどの公共施設です。私は図書館も共育プラザも赤ちゃんの頃から利用しています。図書館には、子供用の本から大人用の本まで様々な年代の人に向けた本が置いてありまた学生のための勉強場所としても使われています。地域の人みんなが使いやすい施設です。その施設の運営が税金でまかなわれていることを知り、税金の力は多くの人を幸せにするのだと感じました。私が今も利用している共育プラザは、私が生後四ヶ月くらいの頃から、母が毎日連れて行ってくれたそうです。共育プラザに行っていたおかげで、私には赤ちゃんの時に知り合った友達もいます。小中学生になってからは、共育プラザを友達と利用するようになりました。勉強やボール遊びをするためです。私が行く共育プラザでは、水曜日に勉強をしている人に無料でジュースやおかしを配ってくれるサービスがあります。そのため、私は集中して勉強することができました。また、屋上には、バスケットボールやサッカーのできる場所があり公園では禁止されているボール遊びができてとても楽しめます。

今回、税の作文を書くにあたり、自分の身の回りで受けられるサービスは税金のおかげでまかなわれていることが分かりました。自分がサービスを受けられることに感謝して、将来自分も働いて税金を納められるように今を頑張ってきていきたいと思っています。